

防災訓練（水洗トイレのバケツ洗浄）

■目的

- ・ご自宅でバケツ洗浄を実施してもらい、何リットルで流せるかを確認していただく事前練習とする
- ・なるべく少ない水で洗浄する流し方を練習する
- ・サイホントイレの原理を知っていただき、封水の役割、補給水の必要性を理解していただく。

■実施方法

1) 体験装置

写真1に体験装置を示す。ステージ（120cm×180cm）の上に、サイホン便器を設置し、バケツ洗浄水を排出口で受ける。

※洗浄排水は、金網でトイレトーパーと水を分離し、排水は水中ポンプで排水設備に排水し、トイレトーパーは、別途可燃ごみとして回収する。



写真1 バケツ洗浄体験装置

2) 実施手順

以下の作業、バケツ洗浄は、居住者の方に参加していただき実施する。

① 疑似汚物の作成

トイレトーパー（JIS 製品シングル）90cm を8つ折りにして正方形に折り、4枚作り重ねたものを疑似汚物とする。

② 疑似汚物の投入

疑似汚物を大便器の封水の中心に置き、水がしみ込むまで待つ。

③ バケツ洗浄

最初は4リットルでバケツ洗浄をする。サイホン現象が発生して大便器の水が呑み込まれ、サイホンが切れて少量の水が戻ってくれば成功（疑似汚物排出）。

④ 封水の補給

封水が切れている場合は、衛生を確保するため、コップ1杯の水を補給し、封水を確保する。

⑤ バケツ洗浄の繰り返し

同じ洗浄水量で3回行い、3回とも流れたら、水量を3L に減らして、同様に3回バケツ洗浄を実施する。

⑥ 判定

3回とも流れたら、水量を2L に減らして、同様に3回バケツ洗浄を実施する。サイホンが発生しないで疑似汚物が残ったら、ひとつ前の水量が必要洗浄水量と判断する。



写真-2 実施状況①



写真3 実施状況②



写真4 実施状況③



写真5 実施状況④